

# City Life NEWS

全国で注目される施策や課題は、地域で暮らす私たちにどう影響するのか？身近に起きた出来事やトレンドなど、幅広い分野のニュースを紹介していきます。ネットでもさまざまなニュースを紹介しています。



シティライフNEWS  
で検索

## MONTHLY OF TOPICS

### 山田地区の「権六おどり」が大阪・関西万博の舞台へ 1970年と2025年をつなぐ地域の踊り手たち

吹田市山田地区に江戸時代から伝わる「権六おどり」が、7月に大阪・関西万博で披露される。その晴れ舞台には、1970年万博で踊りを披露した経験者たちも立つ。地域の伝統を後世に伝え続けている「山田地区権六おどり保存会」の皆さんに話を聞いた。



辻本愛子さん(88)と岡本和子さん(91)。権六おどりには「善兵衛」という庄屋が登場する。なんとこの人物、岡本さんのご先祖にあたるそう。

#### 腕利き大工の昔話から生まれた地域の踊り

権六おどりの起源は江戸時代中期にさかのぼる。舞台は当時の円照寺(山田東)。昔々、寺の普請を担った権六という宮大工がいた。権六には想い人のお杉という村娘がいたが、当のお杉は円照寺の和尚さんに恋をしてしまう。その噂を耳にした権六は普請の手を止め、村の衆は困り果ててしまった。そこで庄屋の善兵衛は、お杉から託された和尚さんへの恋文を、権六に宛てた手紙だといって渡すことに。すると権六は再び普請に精を出すようになり、最終的に立派な寺を建てた。その出来栄を喜んで踊りながら眺めた彼のひょうきんな動きを真似たのが、権六おどりのはじまりだと伝わっている。

によると、かつては三島地域で広く踊られていたという。ところが、時代とともにハイテンポな河内音頭などに人気が集まるようになった。現在は山田に残るのみ。その理由を尋ねると、「やはり円照寺のお膝元だから、絶やしたくないんですよ」と語る。



山田地区権六おどり保存会の会長を務める村上信彦さん。

#### 歴史をつなぐ踊りの輪、より盛大に

大阪・関西万博の「大阪ウィーク」では、吹田市の出展イベントとして権六おどりを披露する機会が設けられた(7月28日開

催予定)。市民にも参加を募ったところ定員の60名を大きく超える応募があり、予定を上回る規模での開催も検討されている。

保存会の一員として参加する岡本和子さん(91)と辻本愛子さん(88)は、1970年の大阪万博でも踊った経験がある。「今回の出展が決まったときは、『それまで元気に踊っていたらいいかな』と不安でした」と口をそろえる。

実は1970年の大阪万博では吹田音頭などを踊り、権六おどりを披露することはなかったという。当時指導にあっていた民謡の先生から「立派な踊りがあるのに、地元で踊らないのはもったいない」と勧められたのをきっかけに、万博の会期後に地域で練習を重ねていった。吹田まつりで披露したのを皮切りに地域イベントへの出演が増えいき、大阪花博や愛・地球博、ついには海を渡り上海万博の大舞台も

経験した。「先人から受け継いだ伝統を後世に伝えていけるように」と岡本さん。

#### 愛されてきた踊りを、次の時代に託すために

「田んぼと竹藪ばかりで水道もろくに通っていなかった」と辻本さんが回想する山田の原風景は、過去の万博とニュータウン開発で大きく変わった。新たな住民が増える一方、古くからの集落では少子化が進み、権六おどりに関わる人は減り続けているのが現状だという。現在は約40名規模で活動しており、世界中から集まった人たちの前で披露できる今回の舞台は、末永く受け継いでいくための重要な機会だ。とはいえ、誰でも気兼ねなく楽しめるのが権六おどりの原点。村上さんたちは「見物しているみなさんも、身振り手振りを真似して一緒に参加してもらえたら」と呼びかけた。

## SOCIAL 戦後80年の節目に豊中空襲を伝える企画展を開催 人権平和センターで平和の大切さを見つめ直す機会に

2025年は、戦後80年の節目の年。豊中市では、開館5周年を迎える人権平和センターにおいて、戦争の記憶を次世代へと継承する企画展「豊中空襲」を開催する。展示では、戦争遺品や空襲体験者による証言パネルを通じて、豊中空襲の実態や戦時中の市民の暮らしを振り返る内容となっている。来場者が戦争の悲惨さを改

めて知り、平和の大切さについて考える機会とすることを目的としている。

また、豊中市立郷土資料館「とよみゆー」との連携事業として、同館が所蔵する歴史・文化財に関する資料もあわせて展示。地域に根ざした視点から、戦時中の豊中を多面的に捉える企画となっている。8月30日まで開催している。

## SOCIAL 使用済み油で空を飛ぶ SUITA Fry to Fly Project

吹田市では「Fry(使用済み油で)to Fly(空を飛ぶ)！」を合言葉に、使用済み食用油の回収率を上げるプロジェクトを進めている。回収された油は、持続可能な航空燃料SAF(Sustainable Aviation Fuel)にリサイクルされる。SAFは、従来の航空燃料に比べてCO2の排出量をおよそ80%削減することができると言われている。市内に15か所ある回収拠点に使用済み



の油を持ち込み、掲示してあるQRコードから申し込むと、抽選で100名にすいたんグッズが当たる。プレゼントの応募期間は6月1日(日)～8月31日(日)。

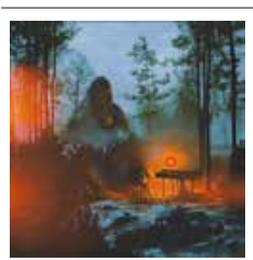
## FM COCOLO × CITYLIFE / 音楽のCOCOLO Vol.70

FM COCOLOの人気DJが季節やテーマに合わせた音楽を紹介。

radiko なら、パソコン・スマートフォンでFM COCOLOが無料でクリアに聴ける!



### 私にとってのCryptids



ALBUM  
Songs for the Cryptids

ARTIST  
Bialystocks

甫木元空と菊池剛というまるで異次元の世界からきたミュージシャンなのに、お話しさせていただくとただ「人」であるというギャップにいつもクラクラする。やわらかいと見せかけて、青い炎のような瞬間がある甫木元空さんの声。アルバムを聴き込んでツアーに行くと、CDで聴いた時の感情とは別の気持ちになるような菊池さんのアレンジ。「別のなにか」を持って帰れるライブというのは「会いたかったよ」「愛してるよ」というそこにアーティストが存在するんだという確認のようなMCもあるだろうが、Bialystocksはそういうものではない。アルバムを聴いて自分の中に構築されたなにかを、容易に本物に飲み込まれる感覚である。アルバムとライブを比較するものではないと思うが、私は彼らの曲が出るたびに、自分を思い知る。そしてライブに行くためにアルバムを聴く。その喜びを取り戻した感覚。お二人が私にとってのCryptids。

Bialystocks / 2019年結成。ボーカル甫木元空のソウルフルで伸びやかな歌声で歌われるフォーキーで温かみのあるメロディーと、キーボード菊池剛によるジャズをベースに持ちながら自由にジャンルを横断する楽器陣の組み合わせは、普遍的であると同時に先鋭的と評される。

仁井 聡子  
NII SATOKO



広島生まれ。1995年にFM802のDJオーディションに合格し、「FUNKY JAMS 802」でFM802デビューする。2002年3月、結婚、出産を機に大阪を離れ、その後は活動の場を東京へと移し、音楽系テレビCMナレーションやアーティストインタビュー番組のインタビュアー、映画舞台挨拶司会など多数出演。現在は関西に戻り、2025年4月よりFM COCOLOのDJとしてのキャリアをスタートさせた ※現在の担当番組「GOOD MO-NII」(月～木)7:00～11:00